

公表：令和8年3月24日

事業所名：こども発達支援教室「ココ塾」蒲田校

回収率：100% 配布：10 回収：10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 →課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1		・スペースが狭いため、職員間の打合せが利用者に聞こえないようにして欲しい。そういうスペースは必要。 →限りあるスペースになりますが、個人情報の観点からも職員間の打合せが聞こえない様にする必要がありますので、打合せをする際には活動している部屋から遠い場所で行うことや声の大きさに注意をするなど対策や工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	4		・日によってコマ数の多い職員がいる。 ・特定の職員が忙しすぎる日がある。忙しい職員にも余裕ができるとよいと思う。 →担当者の割り振りを工夫し、特定の職員に負担が偏りすぎないように調整を進めてまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			・現時点で問題ない。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1	1	・もっと多いほうが良い →必要な業務を精査し、より効率的に遂行できるよう改善を進めております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1		→自己評価結果は事業所ホームページのほか、WAM NET（障害福祉サービス等情報公開システム）で公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	1		→昨年度、第三者評価を実施いたしました。東京福祉ナビゲーションにて報告されています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1		・WISC-Vの事業所内研修が途中になっている。 →事業所内研修の時間をしっかりと確保できるよう、体制の改善を進めてまいります。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10			
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10			
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1		・他職員が忙しく話しづらい場面がある。コミュニケーションをもっと気軽にとれるとありがたい。 →対面以外でも相談できるようなツールを導入するなど、工夫をしてチーム連携をさらに強化して活動を行ってまいります。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		1	→ココ塾では、お子さま一人ひとりの発達段階に合わせ、オーダーメイドの個別療育プログラムを提供しています。すべてのお子さまが個性を大切にしながら、自分らしく成長できるよう支援してまいります。
	15	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9		1	→14番と同様に、お子様の個性を大切にしながら、オーダーメイドの療育を実践しております。また、長期休暇の際には、ご希望に応じてワークや書き初めなどにも一緒に取り組んでいます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点 →課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な 支援の 提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	/	/	/	該当せず
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	3		<ul style="list-style-type: none"> ・行われていないことがある。 ・支援後に打ち合わせの場は設けてないが、共通事項を記録したり、個別に情報共有する心がけている。 ・時間がなかつたりすると話し合いができないことも。他職員との共有をもっといい意味で気楽にできるとありがたい。 →基本的に翌日の朝礼で行っています。対面での時間が合わない場合も考慮し、オンラインツールなどの導入を含め、円滑なコミュニケーションを図れるよう改善してまいります。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			
	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			
	21	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8	2		
関係機 関や保 護者 との 連携 関係機 関や保 護者 との 連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1		
	23	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、ご本人を通じて学校の予定について情報共有をしている。 ・情報が不十分なことはあるが特に支障はない。
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	3		
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1		→言語聴覚士と作業療法士に定期的に来所してもらい、支援について助言を受けています。今後も緊密に連携しながら、専門的視点を支援に活かしていきたいと考えています。
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	8	
	29	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	5	1	→今年度も児童発達支援地域ネットワーク会議に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方から子どもたちの日々の様子を聞けると支援の質もさらに上がるので、保護者の方のお話を直接聞けるとありがたいです。 →保護者様から何う日々の様子は、より良い支援を行うための大切な鍵となります。現在、送迎時や面談の際にお聞かせいただいたお話は、支援の質向上に繋がるよう、都度記録しスタッフ間で共有しております。今後とも、ぜひ些細なことでもお気軽にお聞かせいただけますと幸いです。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	4		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点 →課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1		→契約の際に、重要事項や契約内容の詳細についてご説明させていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10			
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	7	→保護者さまからのご要望が出た際には検討していきたいと思ひます。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2	1	→大切なお知らせにつきましては、メールやHugを活用し、迅速な情報発信に努めております。
	38	個人情報に十分注意しているか	10			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	6	→保護者さまからのご要望が出た際には検討していきたいと思ひます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1		・年間行事で定めた予定で訓練ができるよう改めたい。 →担当者が設定した期間内に訓練を完遂できるよう、事前の周知と準備を徹底してまいります。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、計画に記載しているか	10			→上記④の虐待防止とあわせて身体拘束についての研修も毎年行っています。やむを得ず身体拘束を行う際には記録を取り保護者さまにも報告をいたします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2	1	・事例集ではないが適切に対応している。 →ヒヤリとした場面があった際にはすぐに報告書を作成し、朝礼などで状況共有や改善策の検討をしています。今後も引き続き全職員で充分な共有・検討を行いながら、大きな事故に繋がらないようにしていきます。